



## 岐阜信用金庫



2024年2月29日

各位

### 岐阜信用金庫が e-dash と共同で 「NIKKEI 脱炭素アワード 2023 年度」のプロジェクト部門にて大賞を受賞

岐阜信用金庫（理事長：好岡政宏）と e-dash 株式会社（代表取締役社長：山崎冬馬）が共同で実施する「ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「ぎふしん SLL」）」を中心とした中小企業向け脱炭素支援が、日本経済新聞社主催「NIKKEI 脱炭素アワード 2023」においてプロジェクト部門の大賞を受賞しました。

「NIKKEI 脱炭素アワード」は、脱炭素社会の実現に向けて意欲的に取り組む企業や自治体などの団体や個人の取り組みを支援することを目的とした表彰制度です。2023 年度はプロジェクト部門で 6 件が入賞したうち、大賞は当金庫と e-dash による取り組みへの 1 件、奨励賞が 5 件となっています。

「NIKKEI 脱炭素アワード」公式ウェブサイト：[https://ps.nikkei.com/net\\_zero/award.html](https://ps.nikkei.com/net_zero/award.html)

#### 《受賞内容について》

受賞した取組み：「ぎふしん SLL」で脱炭素を中小企業の競争力へ

－「地域金融機関×脱炭素サービス」が目指す中小企業の持続可能な脱炭素経営－

「2050 年、カーボンニュートラル」の達成に向けて、脱炭素への姿勢を表明し、CO2 排出量の削減に向けて取り組むことは、企業にとって最も重要な経営課題の一つになっています。

一方で、国内企業の 99.7%を占める中小企業については意識・取り組みへの遅れが指摘されています。内閣府の調査では、「脱炭素化に向けた取り組みに全く着手できていない」企業が、上場企業では約 28%である一方、非上場企業では約 75%でした。

こうした課題を解決するため、e-dash と当金庫は互いの機能・強みを持ち寄り、「中小企業の持続可能な脱炭素経営」への包括支援を行ってきました。その一つが、中小企業でも利用できるサステナビリティ・リンク・ローン（以下、SLL）として、「e-dash」をモニタリングツールとして組み込む形で構築された信用金庫業界初のフレームワークローンである「ぎふしん SLL」です。

## 《ぎふしんSLLの仕組み》



金融業界では脱炭素化へのトランジションを推進する手段としてサステナブルファイナンスの動きが広がっています。しかし、SLLについては、大企業向けの大口融資は実行されている一方で、中小企業向け融資は伸び悩んできました。背景には、ローン締結時に定めるCO2排出削減量などの定量目標のモニタリング体制が中小企業側で不足している、融資先企業負担となる第三者評価に多額の費用が必要である、などの課題があります。

このような中、「ぎふしんSLL」は次の観点から、中小企業にとっての利便性のみならずSLLとしての独自性の高さも含めて、株式会社格付投資情報センターより第三者評価を受けています。

- ・脱炭素化に必要なノウハウ、人員の不足を補い、中小企業による費用負担の軽減を施した支援や実行体制の提供
- ・CO2排出量およびその削減目標の達成状況をはじめとした、融資期間中の情報開示（ディスクロージャー）
- ・国際的に見ても独自性の高い、金利インセンティブ条件及びCO<sub>2</sub>削減目標が未達成だった場合の金融機関による伴走支援

2023年8月には、「ぎふしんSLL」の第1号、現在までに4件を実行しました。

当金庫は、今後も地元企業のカーボンニュートラルの取り組みを積極的に支援してきます。

## 《関連情報》

株式会社格付投資情報センターによる「ぎふしんSLL」の第三者評価

[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2023/03/news\\_release\\_suf\\_20230307\\_jpn\\_1.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/03/news_release_suf_20230307_jpn_1.pdf)

「ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローン」の取扱開始※について

※「ぎふしん ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取扱開始含む

<https://www.gifushin.co.jp/release/20230307b.pdf>

## 《本件に関するお問い合わせ先》

岐阜信用金庫 ソリューション営業部 安田 TEL：058-266-2328

以上